

## 【飯南町】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

飯南町では、高速通信ネットワークと1人1台端末を効果的に活用し「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現することで、次世代を担う人材育成の推進を図る。「個別最適な学び」を実現するためには、Google Workspace for EducationやApple Education、AIドリル等の学習ツールを活用し、児童生徒の学習履歴や進捗に応じた学習支援を行っていく。「協働的な学び」を実現するためには、学習ツールを活用することで児童生徒が多様な価値観や意見に触れ、互いの違いを尊重し合いながら、新たな視点を取り入れて問題解決に取り組む力が身につきます。リーダーシップやフォロワーシップを学び、協調性、コミュニケーション能力、チームワークの重要性を実感し、柔軟性と協働力を持った人材へと成長することが期待されます。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現し、端末を活用して自分の意見やアイデアを効果的に表現できる能力を養っていく。

#### 2. GIGA第1期の総括

飯南町ではGIGAスクール構想の実現に向けて令和2年度に1人1台端末を整備し、高速大容量の通信ネットワークを整備した。そのほかにも提示用モニターや電子黒板、ストリーミングデバイス等の整備も行った。学校での端末活用が進み、当時の通信ネットワークでは端末活用に支障をきたすとして令和5年度には通信ネットワークの改修を行い学校内のどこで使用しても問題なく使用できるようにした。

端末活用が進む半面、課題もある。端末の使用頻度が高まるにつれて、端末の劣化が進み、容量不足や画面破損が多数発生した。これを踏まえて今後は定期的な保守・更新や予備機器の確保が必須となる。また、教員の中には端末活用を積極的に行っている人がいるものの、その技術にはばらつきがみられる。教員への継続的な研修とサポート体制を充実させていくことも重要であると考え

#### 3. 1人1台端末の利活用方策

1人1台端末の利活用方策として、下記内容に取り組む。

##### ●個別の学習ペースに合わせた支援と協働による深い学びの実現

Google Workspace for EducationやApple Education、AIドリル等を活用し、生徒の学習履歴や進捗状況をクラウド上で統合管理し、個別最適化された学習計画を立案します。

生徒ごとに苦手分野や得意分野に応じた指導計画を作成し、クラウドツールを通じて進捗に合わせたフィードバックを提供します。

●全児童生徒に安定した学習環境を提供する

端末トラブルに迅速対応できる体制（ICT活用支援員の配置等）を整える。  
端末の定期更新を行い、常に最新の環境で学習が行えるようにする。